














# 江戸川区 中小企業の景況




調査対象 製造業 203社 小売業 96社  
サービス業 74社 建設業 65社  
調査方法 面接聴取法  
調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会  
分析作成 (株) サーベイリサーチセンター




平成30年10～12月期(平成30年12月上旬調査)

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
							
	好調 ←		普通			→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

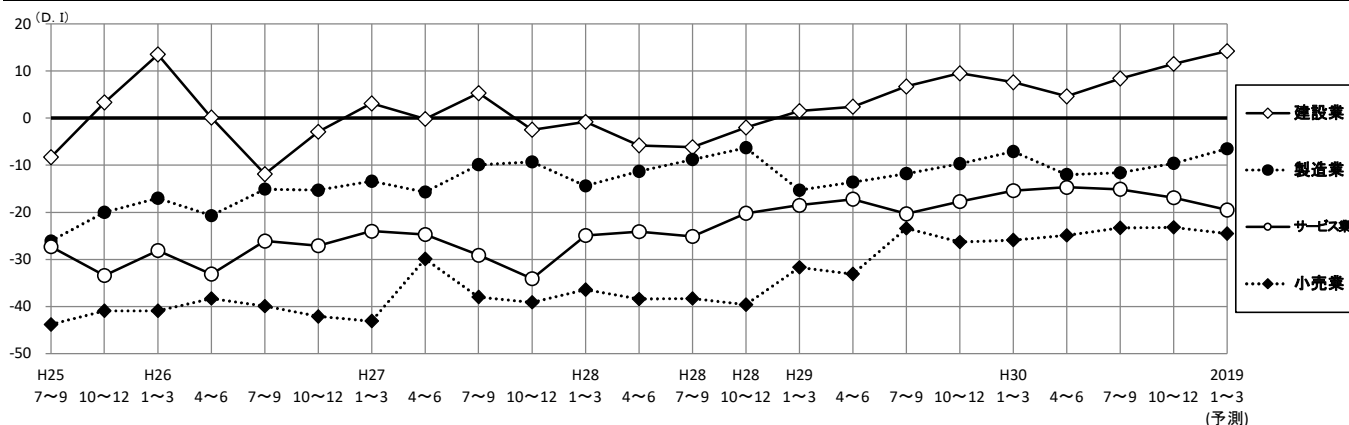
製造業	前期		業況はわずかに改善しました。売上額は前期並の減少幅が続きましたが、収益は多少持ち直しました。受注残は減少幅がかなり縮小しました。価格面では、販売価格はほぼ横這いで推移しましたが、原材料価格は上昇が大幅に弱まりました。原材料在庫数量は品薄から適正範囲になってきました。
	今期		来期の業況は引き続き改善傾向が続くと見込んでいます。売上額は水面下ながらかなり持ち直し、収益もやや持ち直すともっています。受注残は今期同様の水準で推移すると予想しています。
	来期		

小売業	前期		業況は前期並の悪化幅が続きました。売上額と収益はふたたび減少を強めました。価格面では、販売価格と仕入価格はともに前期同様の上昇幅で推移しました。
	今期		来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込んでいますが、売上額と収益はわずかに改善すると予想しています。
	来期		

サービス業	前期		業況は前期同様の悪化幅が続きました。売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は前期同様の低下基調で推移しました。価格面では、料金価格は下降からわずかに上昇に転じましたが、材料価格は前期並の上昇が続きました。
	今期		来期の業況は悪化幅が若干拡大すると見ています。売上額は多少改善しますが、収益は今期並の水準で推移すると予想しています。
	来期		

建設業	前期		業況は堅調に推移しました。売上額は増加幅がわずかに拡大し、受注残と施工高はともに増加傾向が大きく強まりました。収益も好調さをかなり強めました。価格面では、請負価格は下降から上昇に転じましたが、材料価格も上昇幅がさらに強まりました。
	今期		来期の業況は良好感がさらに強まると見ていますが、売上額と収益は増勢がかなり弱まり、受注残と施工高も増加傾向が幾分後退すると予想しています。
	来期		

## 江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



〔過去5年間の業況D.I.の推移〕 ※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	H25 7~9	H25 10~12	H26 1~3	H26 4~6	H26 7~9	H26 10~12	H27 1~3	H27 4~6	H27 7~9	H27 10~12	H28 1~3	H28 4~6	H28 7~9	H28 10~12	H29 1~3	H29 4~6	H29 7~9	H29 10~12	H30 1~3	H30 4~6	H30 7~9	H30 10~12	2019 1~3 (予測)
製造業	-26.1	-20.0	-17.0	-20.7	-15.1	-15.3	-13.4	-15.7	-9.9	-9.3	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-6.5
小売業	-43.8	-40.9	-40.9	-38.3	-39.9	-42.1	-43.1	-29.9	-38.0	-39.1	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-24.5
サービス業	-27.3	-33.4	-28.1	-33.1	-26.1	-27.1	-24.0	-24.7	-29.1	-34.1	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-19.5
建設業	-8.3	3.3	13.5	0.1	-11.9	-2.9	3.1	-0.2	5.3	-2.5	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	14.2

## 経営者から寄せられた声（平成30年10~12月）

### 【景況全般について】

- ・大手は動いている感じが伝わってきているが、中小・零細まではもう少しと感じている。（製造業）
- ・業界、自社共に2018年前半は良かったが、後半が落ち込んだ。（卸売業、小売業）
- ・取引先からはオリンピックまでは景気がいいと聞いている。（運輸業、郵便業）
- ・業界的に景気に左右されることなく安定している。（医療、福祉）

### 【経営上の課題について】

- ・仕事の受注が多く重なり、先行手配の費用が発生し支払いの回転が苦しくなっている。（製造業）
- ・現在の人手不足とともに将来の社員構成を考え、中途採用と新卒採用の模索を始めた。（建設業）

### 【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・2018年5月以降商談が多くなり、売上が上がった。今年も順調。（製造業）
- ・取り扱いの鶏の運送が昨年より駄目になり、春の時期から比べ売り上げが半減。（卸売業、小売業）
- ・9月下旬~10月上旬の受注は若干減少したが、その後の受注は順調で、フル操業の状況が続いている。業界大手との新規取引も始まり、矢継ぎ早の発注を頂いている（建設業）

### 【経営改善等に向けての取組み】

- ・次の盛り上がりの為に製品開発等の準備をしている。（卸売業、小売業）
- ・最新技術の導入および自社技術への付加価値の開発。（情報通信業）

## 江戸川区の企業倒産動向（平成30年10~12月）

### 江戸川区の企業倒産動向

平成30年10~12月期の江戸川区の倒産件数は、前期比90.0%増の19件（前期10件）、負債総額は同476.8%増の13億67百万円（同2億37百万円）でした。

業種別にみると、件数では卸売業が6件で最も多く、次いで建設業が5件でした。負債総額は建設業が7億20百万円で最も多く、次いで卸売業が4億37百万円でした

	(単位：件・百万円)					
	前年同期 平成29年10~12月		前期 平成30年7~9月		今期 平成30年10~12月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	0	0	1	70
卸売業	1	10	1	10	6	437
小売業	2	50	0	0	2	40
サービス業	1	42	1	20	3	60
建設業	1	10	5	155	5	720
不動産業	0	0	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	1	20	0	0	1	30
宿泊業・飲食サービス業	0	0	2	36	0	0
その他	2	37	1	16	1	10
合計	8	169	10	237	19	1,367

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525(直通) FAX:03-5662-0812